

【集団健診（検診）のご案内】

■日時・場所

月日	場所	受付時間
11月6日(土)	総合福祉センター	午前6時～11時
11月7日(日)	「ハピネス」	*感染予防のため、15分ごとに区切ってご案内します。

\*昨年度の健診時にお申込みいただいている人は、再度お申込みする必要はありません。  
 \*受付時間にご希望のある人は、申し込み時にお知らせください。  
 \*都合がつかない場合は、個別健診（検診）もあります。

項目	対象者及び検査内容	一般	下川町国保被保険者	後期高齢者医療
ハピネス健診	18歳以上39歳以下の町民 内容：問診、身体測定、血液・尿・心電図・眼底検査、診察	500円		
国保特定健診	40歳以上74歳以下の下川町国民健康保険に加入されている人 内容：問診、身体測定、血液・尿・心電図・眼底検査、診察	ご加入の医療保険にお問い合わせください。		500円
後期高齢者健診	後期高齢者医療保険に加入されている人 内容：問診、身体測定、血液・尿・心電図・眼底検査、診察	500円		
胃がん検診	40歳以上の町民 内容：問診、胃バリウム検査	1,600円	800円	500円
肺がん検診	40歳以上の町民 内容：問診、胸部レントゲン撮影	500円	300円	200円
	内容：痰を採取して検査 (50歳以上で喫煙年数や本数の多い人、40歳以上で血痰の出る人、検査を希望する人)	900円	400円	300円
CT肺がん検診	40歳以上の町民 内容：問診、2.5ミリ間隔で全肺野を撮影	2,500円	1,200円	800円
	内容：痰を採取して検査 (50歳以上で喫煙年数や本数の多い人、40歳以上で血痰の出る人、検査を希望する人)	300円	100円	100円
大腸がん検診	40歳以上の町民 内容：問診、検便検査（2日分）	800円	400円	300円
内臓脂肪CT検診	20歳以上の町民 内容：～その高さでCT写真を1枚撮影	900円	400円	300円

※生活保護を受けている人は無料です。  
 ※50歳以上の男性は、「前立腺がん検診(PSA血液検査)」も2,100円(全額自己負担)で受けられますので、希望される人はお申込みください。

・今年度40歳になる人は、「胃がん検診」「肺がん検診」「大腸がん検診」が無料です。  
 ・今年度41歳、46歳、51歳、56歳、61歳になる人は、「大腸がん検診」が無料です。

■申込み・お問い合わせ  
 保健福祉課 保健・介護グループ  
 総合福祉センター「ハピネス」  
 ☎・☆4-3356



お元気ですか  
 保健師です

コロナに負けない体づくりのため、  
 健診やがん検診を受けて  
 自分の身体をチェックしましょう！

コロナに負けない体づくりのため、  
 め、健診を受けた人全員に商品券を贈呈！

新型コロナウイルス感染症は、高齢者や基礎疾患（高血圧、糖尿病、慢性呼吸器疾患など）のある人は重症化するリスクが高いと言われています。しかし、高血圧、糖尿病などの生活習慣病は、主に生活習慣が病気の要因となるため、多くは予防することができず、ほとんど症状が出ずにゆっくと進行するため、自分では気付くことが難しい病気です。

自覚症状では分からない身体の状態を知ることができ、健診です。健診では、個人で受ける検査を約11,000円かかる検査を行っていますが、健診費用のほとんどを町が補助するため、500円で受けることができます。さらに、今年度に限り、健診（ハピネス健診、国保特定健診、後期高齢者健診）を受けた人全員に500円分の商品券を贈呈します。見えないウイルスから身を守るためにも自分の身体の状態を知り、

【眼底検査って？】  
 眼底検査は、目の奥にある血管・網膜（もうまく）・視神経（しんけい）を調べる検査です。

目の奥の血管は身体の中で唯一、外から直接見ることのできる血管です。全身の血管の健康状態を反映するため、動脈硬化、高血圧、糖尿病などでおこる全身の血管の変化を見ることができます。

さらに、症状もなく発見が難しいとされる緑内障をはじめとする目の病気が見つかることも少なくありません。気になる目の症状がある人、しばらく目の検査をおすすめです！

【眼底検査って？】  
 眼底検査は、目の奥にある血管・網膜（もうまく）・視神経（しんけい）を調べる検査です。

目の奥の血管は身体の中で唯一、外から直接見ることのできる血管です。全身の血管の健康状態を反映するため、動脈硬化、高血圧、糖尿病などでおこる全身の血管の変化を見ることができます。

さらに、症状もなく発見が難しいとされる緑内障をはじめとする目の病気が見つかることも少なくありません。気になる目の症状がある人、しばらく目の検査をおすすめです！

【CT肺がん検診と肺がん検診との違い】  
 CT肺がん検診と肺がん検診の両方は受けられません。検診の違いをご確認の上、お申込みください。

- ◆CT肺がん検診のメリット
  - ・従来の肺がん検診では見えにくい心臓・胸骨・肋骨などの陰に隠れているがんや2cm以下の小さながんなども発見できるため、より早期にがんを発見でき、治療により完治する可能性が高まる。
  - ・肺がん以外の呼吸器や循環器の病気を確実に診断できる。
  - ・乳腺や肝臓、副腎などの病気が偶然発見される場合がある。
- ◆CT肺がん検診のデメリット
  - ・がんでないのに精密検査や経過観察が必要とされ、負担を負う可能性がある。
  - ・生命に危険のない非常に発育の遅いがんが発見され、必要以上の検査や治療を受ける可能性がないわけではない。
  - ・放射線被ばく線量は、胃がん検診とほぼ同じで、現時点では安全な範囲とされているが、胸部X線肺がん検診の約7～8倍である。

■65歳以上の方は、1年に1回肺がん検診を受けましょう  
 若い頃結核が流行していた世代では、結核に既に感染している人が多く、加齢により免疫力が低下することで結核を発症するリスクが高くなります。日本では結核患者の多くは高齢者という現状です。早期に発見し早期に治療を始めることは自身の健康を守るだけでなく、大切な家族や周りの人への感染拡大を防ぐためにも重要です。  
 65歳以上の人で胸のレントゲンを病院等で撮らない場合は、肺がん検診をお申込みください。